

【利用者調査のガイドライン】

このガイドラインは、サービスの種別によって、利用者調査がどのような方式で行われるのかを示したものです。
表の見方は、次のとおりです。

基本となる調査実施方法 : 最も基本となる方法であり、必ず実施するもの

: 可能な限り全数を調査するという点において、実施することが望ましいもの

調査対象: 対象とする者に がついている。原則としては、本人が調査対象となるが、一部家族等が対象となっている。その場合の見方は次のとおり。

に がついている場合: 家族等もサービスの利用者とみなされるため、利用者本人としての立場で回答(例: 保育所の保護者アンケート)

に がついている場合: 本人には聞くことができないため、家族等が本人の立場で回答する(例: 痴呆性高齢者グループホームの家族アンケート)

調査対象となるのは、現在の利用者(入所者、通所者等)が原則であるが、特別な定義が必要なサービスの場合は、「調査対象設定*」として説明が付記してある。

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法			
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」	
1	指定介護老人福祉施設 【特別養護老人ホーム】	本人	・本人は常時介護が必要な状況にある。 ・記憶力低下、痴呆症状を呈する利用者が少ないが、コミュニケーションがとれる状況にある人もいる。	聞き取り方式					
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。						
2	介護老人保健施設	本人	・本人はリハビリを中心とする医療ケアと介護を必要とする状況にある。 ・記憶力低下、痴呆症状を呈する利用者が少ないが、コミュニケーションがとれる状況にある人もいる。	聞き取り方式					
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。						
3	養護老人ホーム	本人	・本人は入所で共同生活を送っている高齢者である。 ・特別な配慮がなくてもコミュニケーションは可能な場合が多い。	アンケート方式					
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。						

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法		
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」
4 ・ 5	軽費老人ホーム (A型・B型・ケアハウス)	本人	・本人は入所で共同生活を送っている高齢者である。 ・特別な配慮がなくてもコミュニケーションは可能な場合が多い。	アンケート方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。					
6	痴呆対応型共同生活介護 【痴呆性高齢者グループホーム】	本人	・本人は概ね身辺自立が可能な痴呆のある高齢者であり、残存能力を活用して、料理・買い物など分担しながら共同生活を送っている。 ・会話が成立しないわけではないが、痴呆症状の特性によって、的確な返答などが期待できない場合がある。	アンケート方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、グループホームとの関係も多様である。					
7	居宅介護支援	本人	・本人は在宅生活を送っている高齢者であり、多様な場所に多様な形態で生活している。心身状況も多様である。 ・個人によって特性が異なるが、障害が重い場合以外コミュニケーションは工夫すれば可能な場合が多い。	アンケート方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、介護支援専門員との関係も多様である。					
		調査対象設定 *	調査の対象は、現在給付管理の対象となっている登録者全員とする。					

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法			
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」	
8	通所介護 【デイサービス】	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は在宅生活を送っている高齢者であり、多様な場所に多様な形態で生活している。心身状況も多様である。 ・個人によって特性が異なるが、障害が重い場合以外コミュニケーションは工夫すれば可能な場合が多い。 ・日によって利用者層は異なることがあり、調査対象をいつにするのか工夫する必要がある。 	アンケート方式				(注)	
		家族等	<ul style="list-style-type: none"> ・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。 		(注)				
		調査対象設定*	現在利用している登録者全員とする。						
		(注)	痴呆性高齢者のデイサービスのみ行っている場合は、痴呆性高齢者グループホームと同様、本人への「コミュニケーション」方式と家族等が本人の立場で回答するアンケート方式を実施する。						
9	短期入所生活介護 【ショートステイ】	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は基本的には在宅生活を送っている高齢者であり、介護が必要な状況にある。心身状況・家族状況も多様である。 ・個人によって特性が異なるが、障害が重い場合以外コミュニケーションは工夫すれば可能な場合が多い。 ・現在の利用者は限定されており、調査対象を設定するために、どの範囲の利用者を想定するのか工夫が必要である。 	アンケート方式					
		家族等	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が同居している利用者がほとんどである。 		-	-	-	-	
		調査対象設定*	少なくとも一ヶ月の期間を設け、その期間内の利用者全員(実数)とする。						
10	訪問介護	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は在宅生活を送っている高齢者であり、多様な場所に多様な形態で生活している。心身状況も多様である。 	アンケート方式					
		家族等	<ul style="list-style-type: none"> ・家族状況は個々さまざまである。 		-	-	-	-	

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法		
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」
11	身体障害者居宅介護・知的障害者居宅介護 [障害者ホームヘルプサービス]	本人	・本人は在宅生活を送っている障害者であり、多様な場所に多様な形態で生活している。心身状況も多様である。 ・身体障害・知的障害(・精神障害)で特性が異なるが、障害が重い場合以外コミュニケーションは工夫すれば可能な場合が多い。	アンケート方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまである。		-	-	-	-
12	知的障害者入所更生施設	本人	・本人は入所で共同生活を送っている知的障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、自閉傾向の強い利用者の場合など、コミュニケーションをとることが難しい利用者も多い。	聞き取り方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。		-	-	-	-
13	身体障害者更生施設 (肢体不自由者)	本人	・本人は入所で共同生活を送っている身体障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、工夫すればコミュニケーションをとることができる。	アンケート方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。		-	-	-	-
14	身体障害者更生施設 (旧重度身体障害者更生援護施設)	本人	・本人は入所で共同生活を送っている身体障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、コミュニケーションをとることが難しい利用者も多い。	聞き取り方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。		-	-	-	-

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法			
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」	
15	身体障害者更生施設 (視覚障害者)	本人	・本人は入所で共同生活を送っている視覚障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、工夫すればコミュニケーションをとることができる。	聞き取り方式					
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。						
16	身体障害者更生施設 (聴覚・言語障害者)	本人	・本人は入所で共同生活を送っている聴覚・言語障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、工夫すればコミュニケーションをとることができる。	聞き取り方式					
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。						
17	身体障害者更生施設 (内部障害者)	本人	・本人は入所で共同生活を送っている内部障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、工夫すればコミュニケーションをとることができる。	アンケート方式					
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。						
18	身体障害者療護施設	本人	・本人は入所で共同生活を送っている身体障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、工夫すればコミュニケーションをとることができる。	聞き取り方式					
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。						
19	身体障害者入所授産施設	本人	・本人は入所で共同生活を送っている身体障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、工夫すればコミュニケーションをとることができる。	聞き取り方式					
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。						

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法		
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」
20	知的障害者入所授産施設	本人	・本人は入所で共同生活を送っている知的障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、自閉傾向の強い利用者の場合など、コミュニケーションをとることが難しい利用者も多い。	聞き取り方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。					
21	知的障害児施設	本人	・本人は入所で共同生活を送っている知的障害者である。 ・障害の状況・程度はさまざまだが、自閉傾向の強い利用者の場合など、コミュニケーションをとることが難しい利用者も多い。 ・実際には成人(過齢児)が入所している例も多い。	アンケート方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。					
22	知的障害者地域生活援助 【知的障害者生活寮】	本人	・本人は就労・通所等をしている知的障害者で、日常的な支援を受けながら共同生活を送っている。 ・コミュニケーションは可能な場合が多い。	聞き取り方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。					
23	身体障害者通所授産施設・ 知的障害者通所授産施設	本人	・本人は在宅生活を送っている障害者であり、多様な場所に多様な形態で生活している。心身状況・家族状況も多様である。 ・身体障害・知的障害(・精神障害)で特性が異なるが、障害が重い場合以外コミュニケーションは工夫すれば可能な場合が多い。	聞き取り方式				
		家族等	・家族が同居の場合も、何らかの理由で日常的な支援を必要としている。					

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法		
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」
24	身体障害者小規模通所授産施設 知的障害者小規模通所授産施設	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は在宅生活を送っている障害者であり、多様な場所に多様な形態で生活している。心身状況・家族状況も多様である。 ・身体障害・知的障害(・精神障害)で特性が異なるが、障害が重い場合以外コミュニケーションは工夫すれば可能な場合が多い。 	聞き取り方式				
		家族等	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が同居の場合も、何らかの理由で日常的な支援を必要としている。 					
25	身体障害者デイサービス 知的障害者デイサービス	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は在宅生活を送っている障害者であり、多様な場所に多様な形態で生活している。心身状況・家族状況も多様である。 ・個人によって特性が異なり、コミュニケーションには配慮が必要である。 ・日によって利用者層は異なることがあり、調査対象をいつにするのか工夫する必要がある。 	聞き取り方式				
		家族等	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が同居の場合も、何らかの理由で日常的な支援を必要としている。 					
		調査対象設定*	現在利用している登録者全員とする。					
26	身体障害者短期入所 知的障害者短期入所 【障害者ショートステイ】	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は基本的には在宅生活を送っている障害者であり、介護が必要な状況にある。心身状況・家族状況も多様である。 ・現在の利用者は限定されており、調査対象を設定するために、どの範囲の利用者を想定するのか工夫が必要である。 	アンケート方式				
		家族等	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が同居している利用者が殆どである。 					
		調査対象設定*	少なくとも一ヶ月の期間を設け、その期間内の利用者全員(実数)とする。					

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法		
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」
27	知的障害者通所更生施設	本人	・本人は在宅生活を送っている障害者であり、多様な場所に多様な形態で生活している。心身状況・家族状況も多様である。 ・個人によって特性が異なるが、障害が重い場合以外コミュニケーションは工夫すれば可能な場合が多い。	聞き取り方式				
		家族等	・家族が同居の場合も、何らかの理由で日常的な支援を必要としている。		-	-	-	-
28	知的障害児通園施設	本人	・本人は就学前の幼児であり、コミュニケーションがとれるのは、限定された一部に過ぎない。	アンケート方式	-	-	-	-
		家族等	保護者も子どもとともに利用者である。					
29	知的障害者通勤寮	本人	・本人は就労・通所等をしている知的障害者で、日常的な支援を受けながら共同生活を送っている。 ・コミュニケーションは可能な場合が多い。	アンケート方式				
		家族等	・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。		-	-	-	-
30	認可保育所	本人	・本人は乳児から幼児であり、コミュニケーションがとれるのは、一定年齢以上の幼児である。 ・ある程度、保護者の声を通して意向を把握できる。	アンケート方式	-	-	-	-
		家族等	・保護者も、子どもとともに利用者である。					
31	認証保育所A型・B型	本人	・本人は乳児から幼児であり、コミュニケーションがとれるのは、一定年齢以上の幼児である。 ・ある程度、保護者の声を通して意向を把握できる。	アンケート方式	-	-	-	-
		家族等	・保護者も、子どもとともに利用者である。					

	サービス名称	利用者特性		結果報告書の様式 (公表対象)	調査対象	基本となる調査実施方法		
						アンケート	聞き取り	「コミュニケーション」
32	母子生活支援施設	児童	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の養育困難な状況にある母及び子である。 ・一定年齢以上の児童は特別な配慮がなくてもコミュニケーションは可能な場合が多い。 	アンケート方式				
		母親						
33	児童養護施設	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は1歳以上の養護を必要とする児童である ・一定年齢以上の児童はコミュニケーションが可能であるが、配慮が必要な児童もいる。 	アンケート方式				
		家族等			<ul style="list-style-type: none"> ・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。 	-	-	-
34	婦人保護施設	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は、社会的不利益を被っており、生活支援・自立支援を必要とする女性である。 	アンケート方式				
		家族等			<ul style="list-style-type: none"> ・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。 	-	-	-
35	救護施設	本人	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は身体上または精神上著しい障害があり、生活困難な状況にある。 ・本人のコミュニケーション力は個々さまざまである。 	聞き取り方式				
		家族等			<ul style="list-style-type: none"> ・家族状況は個々さまざまであり、施設との関係も多様である。 	-	-	-